

# 週間漁海況情報—第49号

平成22年12月20日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究所

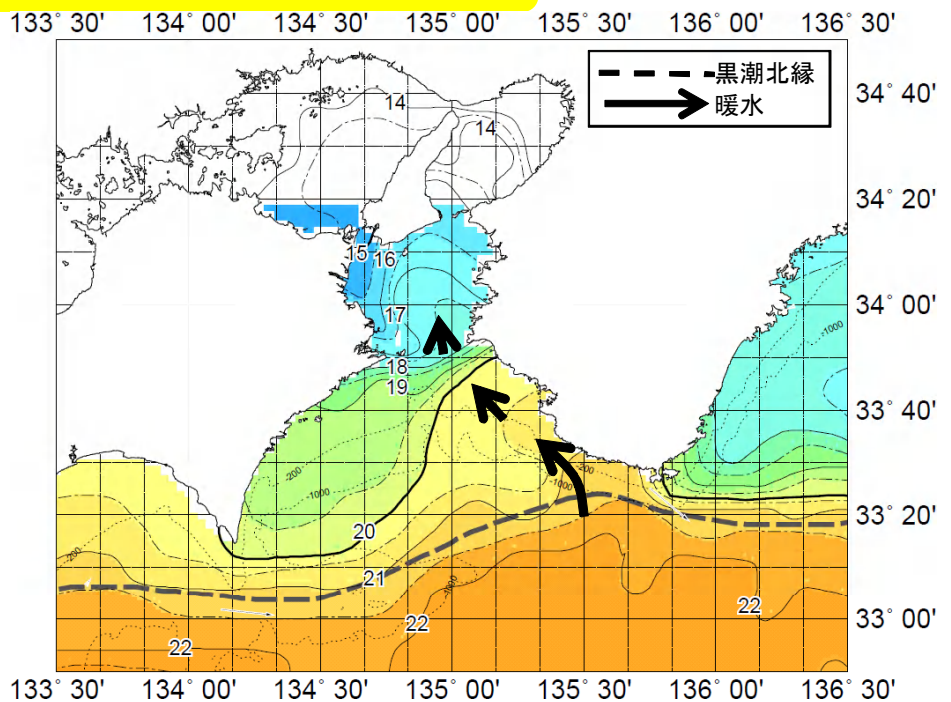
## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.12.20）を示した。

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖で著しく離岸、足摺岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、20～22℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で14℃台、紀伊水道で14～17℃台、海部沿岸で17～20℃台である。

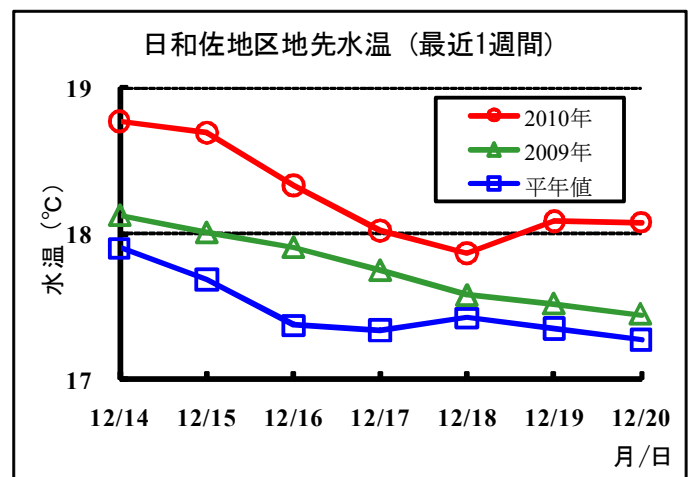
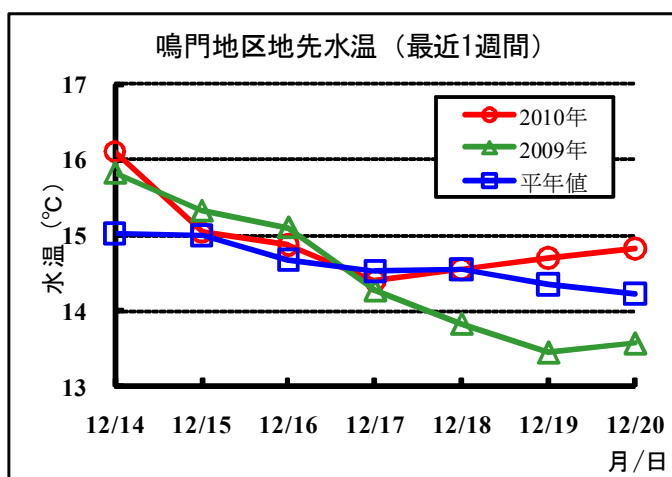


紀伊水道外域では、和歌山県沿岸からの暖水流入があり、その先端が紀伊水道内まで達している。海部沿岸では下り潮が発生している。漁業調査船「とくしま」により12月8、16および17日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温が表層～20m層で「平年並み」の17.5～17.8℃、30～50m層で「やや低め」の17.9～18.3℃であった。

### 紀伊水道海区観測結果

観測日		水温					塩分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
12/8, 16, 17	今年値	17.5	17.5	17.8	17.9	18.3	33.2	33.3	33.5	33.5	33.8
	平年偏差	-0.2	-0.2	-0.4	-0.5	-0.5	0.0	-0.1	-0.1	-0.2	-0.2
	前年偏差	-0.9	-1.0	-1.2	-1.3	-1.6	0.0	0.0	0.0	-0.1	-0.2

**地先水温** 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の14.4～16.1℃、日和佐地区で「平年並み」～「やや高め」の17.9～18.8℃、牟岐地区は「平年並み」～「かなり高め」の18.1～20.6℃で推移した。



\* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

## 2. 海況の経過

**延縄**：海部沿岸で、大主体にアマダイが0.3トン(1日1隻当たり7kg)、カワハギが0.2トン(同45kg)、大主体にサバフグが0.8トン(同41kg)水揚げされた。

**小型定置網**：海部沿岸で、アオリイカが2.4トン(同17kg)、キビナゴが0.4トン(同3kg)、スズキ類が0.4トン(同3kg)、タチウオが0.4トン(同3kg)、中主体にメジナが0.4トン(同3kg)水揚げされた。

**大型定置網**：海部沿岸で、中主体にアオリイカが0.3トン(同67kg)、小主体にタチウオが0.8トン(同159kg)、小主体にマサバが1.0トン(同190kg)水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸で、アオリイカが2.6トン(同21kg)、紀伊水道で中主体にサワラが0.3トン(同20kg)水揚げされた。

**パッチ網**：紀伊水道で、シラスが4.7トン(同75kg)水揚げされた。

**漁業種類別集計表(抜粋) 12月13日～12月19日**

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	46	338	7	大主体
		カワハギ	5	224	45	
		サバフグ	20	828	41	大主体
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	141	2,446	17	
		キビナゴ	141	356	3	
		スズキ類	141	367	3	
		タチウオ	141	357	3	
		メジナ	141	415	3	中主体
		アオリイカ	5	336	67	中主体
		タチウオ	5	793	159	小主体
大型定置網	海部沿岸	マサバ	5	950	190	小主体
		アオリイカ	123	2,579	21	
		アオリイカ	13	254	20	中主体
釣り	紀伊水道	サワラ	62	4,650	75	
パッチ網	紀伊水道	シラス				

**週間予報**：黒潮は室戸岬沖および潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の13℃台後半～14℃台、日和佐地先は「平年並み」～「やや高め」の18℃台前半～16℃台後半で推移する見込み。

**他県情報** 宮崎県のパッチ網でシラスが7.8トン(1日1隻・統あたり0.9トン)水揚げされた。

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年の12月21日～27日には、海部沿岸の延縄で小主体にサバフグ0.3トン、小型定置網で中主体にアオリイカ0.3トン、釣りで大主体にアオリイカ0.4トン、中主体にカツオ0.2トン、大主体にタチウオ0.3トン、特大主体にヨコワ2.3トン、紀伊水道の釣りで大・中主体にサワラ1.1トン、パッチ網でシラス11.2トンが水揚げされていた。